

□ 講師派遣

食品安全に関する講座として、教育機関、地方公共団体、消費者団体、関係職能団体、事業者団体等が主催する意見交換会やセミナー等に講師を派遣しています。

京都府(京都府立大学)、沖縄県(美里工業高校)、名古屋市(名古屋女子大学)との共催で、高校生や大学生向けの意見交換会をオンラインで開催したほか、国際医療福祉大学、東海大学、長浜バイオ大学、三重大学に講師を派遣し、大学生向けの講義を行いました。また、各団体が主催する講演会の要望に応じて、「食中毒」、「食品添加物」、「農薬」、いわゆる「健康食品」や「リスクコミュニケーション」といったテーマについて講演を行いました。

意見交換会（情報提供後にグループワーク）

自治体と意見交換会の共催（沖縄県の事例）



テーマ：食中毒の予防（2021年9月30日開催）

高等学校の授業2コマで実施
グループワークはTwitterで食中毒について自分ならどのようにつぶやくかを議論
(受講生は調理を専門とする生徒)



参加者の感想（抜粋）

- 食中毒の怖さが理解できた
- 鶏肉の生焼けの危険性がわかった
- 肉を洗わないという理由が理解できた
- 皆でツイートを考えるのが面白かった
- 料理人になったときは仕事に責任を持ちたい

2021年度その他共催開催自治体：京都府、名古屋市

食品安全委員会
Food Safety Commission of Japan

□ 訪問学習受け入れ

食品安全を守る仕組み等に関心のある中学生、高校生、大学生等の訪問学習を積極的に受け入れていきます。本来なら食品安全委員会の見学などをしていただきたいところですが、昨年度はコロナ禍のため、オンラインで行いました。6月は防衛医科大学学生と「食品の安全を守るしくみ-リスク評価-」の情報提供と意見交換を行いました。また、12月には慶應義塾大学大学院の学生に「食品添加物の安全性評価」や「いわゆる健康食品に関する情報提供」をテーマとして授業を行いました。

講師派遣、訪問学習にご関心がある方は、食の安全ダイヤル(裏表紙)までお問合せ下さい。

□ 全国食品安全連絡会議

食品安全委員会は、全国の保健所や都道府県の食品安全部署との連携を強化するために「全国食品安全連絡会議」を開催しています。令和3年度は「農薬の安全性の確保の仕組み」や「オンラインを利用したリスクコミュニケーションの事例」についての情報を提供しました。

2021年度 食品健康影響評価事業等功労者大臣表彰が行われました

2022年4月20日、2021年度の食品健康影響評価事業等功労者大臣表彰の表彰式が行われ、佐藤洋氏(東北大学名誉教授)、高橋久仁子氏(群馬大学名誉教授)、田村豊氏(酪農学園大学名誉教授)の3氏が受賞しました。表彰式では若宮内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)から3氏に対し、「食品を巡るリスクも多様化する中で、科学的知見に基づき、客観的な立場で、中立公正に食品のリスク評価を行うことは、食品の安全の確保にとって極めて重要です。また、リスク評価の結果や食品の安全性について、正確に分かりやすく情報提供していくことが不可欠です。この分野で多大な功績があった皆様を表彰できますことは、私にとっても大きな喜びであるとともに、今後、この分野で活躍される人の励みになれば幸いです。」とお祝いの言葉が送られました。



写真左から、田村氏、佐藤氏、若宮大臣、高橋氏、鋤柄事務局長

令和3年度食品健康影響評価事業等
功労者大臣表彰受賞者インタビュー

<http://www.fsc.go.jp/sonota/hyosho2021.html>